

ゼロカーボンシティの実現

～地域内経済の好循環の拡大を目指して～



地域資源を
活用！



●エネルギー事業の利益を市民へ還元
⇒地域課題の解決へ



ゼロカーボンシティの実現

～地域内経済の好循環の拡大を目指して～

2020年11月11日「宮古市2050年
ゼロカーボンシティ」

2030年
温室効果ガス50%削減

地域脱炭素

目指す姿

2050年
カーボンニュートラル

省エネ

創エネ

蓄エネ

木質バイオマス

マイクロ風力

小水力

太陽光

ZEH
(ゼロエネルギーハウス)

一般住宅

エネルギー・マネジメント
システム

小規模電力網
(マイクログリッド)

公共施設
市役所

小型CHP
(熱電併給)

カーポートPV

EV公用車

・EV充電設備
・充放電設備 (V2H、V2X)
・カーシェアリング

ZEB
(ゼロエネルギービル)

小型CHP
(熱電併給)

カーポートPV

H2
蓄電池

集合ビル

・EVバス、燃料電池バス
・グリーンズローモビリティ

令和4年11月1日選定！

ゼロカーボンシティの
実現に向けて加速化

脱炭素先行地域

ゼロカーボンシティの実現

～地域内経済の好循環の拡大を目指して～

■ 事業の内容

- ①大型蓄電池を活用した夜間連系太陽光発電所、国産中型風力発電所の整備による地産電源の確保
- ②地域新電力を活用した地消の拡大
- ③住宅等への自家消費型太陽光発電、蓄電池導入
- ④建物の省エネ化
- ⑤電気自動車等導入
- ⑥市民の意識向上、行動変容
- ⑦市が再エネ事業に出資して得られた収益を地域課題解決に活用する「宮古市版シュタットベルケ」の拡大
- ⑧地元企業の再エネ事業への参画



■ 企業様へのお願いと 得られるメリット

- 企業版ふるさと納税によるご寄附
- 市民の意識向上、行動変容につながる普及啓発実施へのご協力
- ⇒社会貢献
- 企業イメージの向上、PR

■ 得られる成果

- 再生可能エネルギーの地産地消
⇒ゼロカーボンシティの実現
- 地域内経済循環の創出 ⇒持続可能なまちへ